

デーヴォ ガイド



2024.6.10-16

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?)1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

10日 月曜

ペテロ I



5:8 身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吼えたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。

5:9 強く信仰に立って、この悪魔に対抗なさい。ご存じのように、世界中で、あなたがたの兄弟たちが同じ苦難を通過してきているのです。

5:10 あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあって永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみの中で回復させ、強く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。

5:11 どうか、神のご支配が世々限りなくありますように。アーメン。

5:12 忠実な兄弟として私が信頼しているシルワノによって、私は簡潔に書き送り、勧めをし、これが神のまことの恵みであることを証しました。この恵みの中にしっかりと立っていなさい。

5:13 あなたがたとともに選ばれたバビロンの教会と、私の子マルコが、あなたがたによろしくと言っています。

5:14 愛の口づけをもって互いにあいさつを交わしなさい。キリストにあるあなたがたすべての者に、平安がありますように。

ペテロの手紙は苦難にある教会に書き送られましたが、それはそのまま現代においても、苦難にある人々に語るものです。

苦難に際して、サタンはクリスチャンを落胆させて、信仰から引き摺り下ろそうとします。「悪魔が、吼えたける獅子のように、誰かを食い尽くそうと探し回っている」状態です。苦難にある人はサタンの

餌食にならないようにしましょう。神様を見上げることです。

その神様は「あなたがたをしばらくの苦しみのあとで回復させ、強く立たせ、強くし、不動の者としてくだ」さる方です。

苦難でこと信仰が試されることを覚えつつ、主にある希望を持って、強められましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11日 火曜

ペテロⅡ

1:1 イエス・キリストのしもべであり使徒であるシモン・ペテロから、私たちの神であり救い主であるイエス・キリストの義によって、私たちと同じ尊い信仰を受けた方々へ。

1:2 神と、私たちの主イエスを知ることによって、恵みと平安が、あなたがたにますます豊かに与えられますように。

1:3 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました。

1:4 その栄光と栄誉を通して、尊く大いなる約束が私たちに与えられています。それは、その約束によってあなたがたが、欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

1:5 だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、信仰には徳を、徳には知識を、

1:6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、

1:7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

1:8 これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、私たちの主イエス・キリストを知る点で、あなたがたが役に立たない者とか実を結ばない者になることはありません。

1:9 これらを備えていない人は盲目です。自分の以前の罪がきよめられたことを忘れてしまって、近視眼的になっているのです。

1:10 ですから、兄弟たち。自分たちの召しと選びを確かなものとするように、いっそう励みなさい。これらのことを行っているなら、



決してつまづくことはありません。

1:11 このようにして、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国に入る恵みを、豊かに与えられるのです。

クリスチャンの成長について書かれています。「私たちが知ったことにより」とあります。成長は私たちの頑張りや修行によってではなく、神様とその救いを知ることによって与えられるのです。頑張りが必要ないではありません。頑張りとは信仰によって、恵と喜びのうちになされるものなのです。

また「ご自身の栄光と栄誉を通して」と「約束によって」とあります。神様の栄光を見ると強い信仰が与えられます。また主イエスご自身の栄誉と愛されているという栄誉に触れると、きよい信仰が成長します。さらには主の「約束」を信じていくことができ、その希望のゆえにどんな苦難にも負けないようになります。

そのような主とともに歩みましょう。神様を体験しましょう。そのためにはクリスチャンの集まりに出て、礼拝で熱心に主を求め、主に従っていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12日 水曜

ペテロⅡ

1:12 ですから、あなたがたがこれらのことをすでに知り、与えられた真理に堅く立っているとはいえ、私はあなたがたに、それをいつも思い起こさせるつもりです。

1:13 それを思い起こさせて、あなたがたを奮い立たせることを、私は地上の幕屋にいるかぎり、なすべきだと思っています。

1:14 私たちの主イエス・キリストが示してくださったように、私はこの幕屋を間もなく脱ぎ捨てることを知っています。

1:15 ですから、ぜひとも、私が去った後いつでも、あなたがたがこれらのことを思い起こせるようにしておきたいのです。

1:16 私たちはあなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨を知らせましたが、それは、巧みな作り話によったではありません。私たちは、キリストの威光の目撃者として伝えたのです。

1:17 この方が父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、厳かな栄光の中から、このような御声がありました。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」

1:18 私たちは聖なる山で主とともにいたので、天からかかったこの御声を自分で聞きました。

1:19 また私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。

1:20 ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。

1:21 預言は、決して人間の意志によってもた



らされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

ペテロは地上の生涯をもう直ぐに終えるという覚悟に生きていました。その最後に自覚した大切な使命は、クリスチャン達を「奮い立たせる」ことです。伝道も大切であって、クリスチャンであれば必ずすべきことであり、祝福と喜びですが、それだけではありません。クリスチャンを励ますことも忘れてはならないのです。

セルなどで互いに信仰を励まし合うことは、大きな働きであり、それは健全な信仰を回復させて、さらには伝道へとつながってゆくものです。

ペテロは聖書の記者である自分たちの証言を、「作り話によったのでは」なく、真実であると明言しています。聖書は全て真実であり、そこに書かれていることは、神のことばゆえに力あるものです。

ただしこの聖書を読むにあたっては大切なことがあります。それは「勝手に解釈するものでない」ということです。それをしてしまうと真実が歪められてしまうこととなります。

ですから正しく解き明かす人が必要で、それはキリスト教、教会、そして解釈の歴史に主が働いておられるので、それらを踏まえた解釈と解き明かしが必要なのです。

礼拝に行かずとも1人で祈っていますという人がいますが、説教者の語るメッセージを聞く必要がりますし、ディボーションガイドも必要なのです。

ただし、みことばを自分に適用することは私的なことです。ひとそれぞれ違うのは当然ありうることです。

説教を实践し分かち合って、またディボーションも同じように、分かち合いましょ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶ 13日 木曜

ペテロⅡ



2:1 しかし、御民の中には偽預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも偽教師が現れます。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

2:2 また、多くの者が彼らの放縱に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることになります。

2:3 彼らは貪欲で、うまくこしらえた話であなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは昔から怠りなく行われていて、彼らの滅びが遅くなることはありません。

2:4 神は、罪を犯した御使いたちを放置せず、地獄に投げ入れ、暗闇の縄目につないで、さばきの日まで閉じ込められました。

2:5 また、かつての世界を放置せず、不敬虔な者たちの世界に洪水をもたらし、義を宣べ伝えたノアたち八人を保護されました。

2:6 また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、不敬虔な者たちに起こることの事例とされました。

2:7 そして、不道徳な者たちの放縱なふるまいによって悩まされていた正しい人、口を救い出されました。

2:8 この正しい人は彼らの間に住んでいましたが、不法な行いを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたのです。

2:9 主はこのようにされたのですから、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、正しくない者たちを処罰し、さばきの日まで閉じ込めておくことを、心得ておられるのです。

2:10 特に、汚れた欲望のまま肉に従って歩み、

権威を侮る者たちに対して、主はそうされます。この者たちは厚かましく、わがままで、栄光ある人たちをののしって恐れません。

2:11 御使いたちは勢いも力も彼らにまさっているのに、主の御前で彼らをそしって訴えたりしません。

にせ預言者について述べられています。またにせ教師が表れる可能性もあります。これらに共通するのは、「主さえも否定」という点です。そのような異端はなぜ出現するかというと、彼らが指導者になりたいという、名誉欲から来ることが多いので、結局はその欲望を満たすことに目的がすり替えられるのです。その結果「放縱」「貪欲」が明らかになるのです。

にせ預言者、にせ教師に気をつけましょう。またそのようなものに教会やクリスチャンたちが惑わされないように、祈りつつ、必要なときには指導しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14日 金曜

ペテロⅡ



2:12 この者たちは、本能に支配されていて、捕らえられ殺されるために生まれてきた、理性のない動物のようです。自分が知りもしないことを悪く言い、動物が減びるように減ぼされることになります。

2:13 彼らは不義の報酬として損害を受けますのです。彼らは昼間から飲み騒ぐことを楽しみとしています。彼らはしみや傷であり、あなたがたと一緒に宴席に連なるとき、自分たちのだましごとにつけるのです。

2:14 その目は姦淫に満ち、罪に飽くことがなく、心が定まらない人たちを誘惑し、心は貪欲で鍛えられています。彼らはのろいの子です。

2:15 彼らは正しい道を捨てて、さまよっています。ペオルの子バラムの道に従ったのです。バラムは不義の報酬を愛しましたが、

2:16 自分の不法な行いをとがめられました。口のきけないろばが人間の声で話して、この預言者の正気を失ったふるまいをやめさせたのです。

2:17 この者たちは水がない泉、突風で吹き払われる霧です。彼らには深い闇が用意されています。

2:18 彼らは、むなしいことを大げさに語り、迷いの中に生きている人々の間から現に逃げ出しつつある人たちを、肉欲と好色によって誘惑しています。

2:19 その人たちに自由を約束しながら、自分自身は減びの奴隷となっています。人は自分を打ち負かした人の奴隷となるのです。

2:20 主であり、救い主であるイエス・キリストを知ることによって世の汚れから逃れたの

に、再びそれに巻き込まれて打ち負かされるなら、そのような人たちの終わりの状態は、初めの状態よりももっと悪くなります。

2:21 義の道を知っていながら、自分たちに伝えられた聖なる戒めから再び離れるよりは、義の道をしらなかったほうがよかったです。

2:22 「犬は自分が吐いた物に戻る」、「豚は身を洗って、また泥の中を転がる」という、ことわざどおりのことが、彼らに起こっているのです。

異端などサタンの手下となった人々について語られています。私たちには必要ないと思うかもしれませんが、そのような出来事はめったにないからです。しかしもしもそのようなサタンの惑わしがあるなら、大きな痛手を被ることになりますから、日頃から知っておくこと、そしてその芽を摘むことが大切です。

サタンの惑わしに会わないように、その芽となる要素を取り除きましょう。そのためには主のみことばに忠実に生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶ 15日 土曜

ペテロⅡ



3:1 愛する者たち、私はすでに二通目となる手紙を、あなたがたに書いています。これらの手紙により、私はあなたがたの記憶を呼び覚まして、純真な心を奮い立たせたいのです。

3:2 それは、聖なる預言者たちにより前もって語られたみことばと、あなたがたの使徒たちにより伝えられた、主であり救い主である方の命令を思い出させるためです。

3:3 まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、自分たちの欲望に従いながら、

3:4 こう言います。「彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造のはじめからのままではないか。」

3:5 こう主張する彼らは、次のことを見落としています。天は大昔からあり、地は神のことばによって、水から出て、水を通して成ったのであり、

3:6 そのみことばのゆえに、当時の世界は水におおわれて滅びました。

3:7 しかし、今ある天と地は、同じみことばによって、火で焼かれるために取っておかれ、不敬虔な者たちのさばきと滅びの日まで保たれているのです。

3:8 しかし、愛する人たち、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

3:9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておら

れるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

主の再臨などはまだまだ先のことと思っはいいないでしょうが。主はそれをいたずらに遅らせているのではなく、「だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるの」だからです。

全ては終末に向かっていきます。主にある者にとって終末は、大いなる喜びの日であり、全ての解決の日です。そこを目指して進みましょう。主からの報いを期待しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶ 16日 日曜

ペテロ II

3:10 しかし、主の日は盗人のようにやっけて来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまいます。

3:11 このように、これらすべてのものが崩れ去るのだとすれば、あなたがたは、どれほど聖なる敬虔な生き方をしなければならぬことでしょうか。

3:12 そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

3:13 しかし私たちは、神の約束にしたがって、義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

3:14 ですから、愛する者たち。これらのことを待ち望んでいるのなら、しみも傷もない者として平安のうちに神に見出していただけるように努力しなさい。

3:15 また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。愛する、私たちの兄弟パウロも、自分に与えられた知恵にしたがって、あなたがたに書き送ったとおりです。

3:16 その手紙でパウロは、ほかのすべての手紙でもしているように、このことについて語っています。その中には理解しにくいところがあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の箇所と同様、それらを曲解して、自分自身に滅びを招きます。

3:17 ですから、愛する者たち。あなたがたは前もって分かっているのですから、不徳な者たちの惑わしに誘い込まれて、自分自身の堅実さを失わないよう、よく気をつけなさい。



3:18 私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。イエス・キリストに栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。

「主の日」というのは、この世の終わりの日であり、主のさばきの日です。「盗人のように」すなわち、それは誰にも知られないうちに何の前触れもなく実現するということです。その時には天変地異が起こることが分っています。

私たちはいつまでも自分の都合の良い時代が続くと思っははられません。この世の終わりがこのような厳かなときであることを思うと、その備えをしつつ生きる必要がありますから、「聖なる敬虔な生き方」をする人になりましょう。

ただしそれは恐ろしいからという動機ではありません。「新しい天と新しい地を」待ち望む希望があるので、それは喜びにつながるものなのです。手紙、すなわち手紙として記された聖書によって、希望と励ましが与えられつつ自分を見せてもらいつつ、主に従っていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

